

2023年度の産学連携プログラムの実施状況

Industry-University Consortium on Logistics 2023

ロジスティクス産学連携プログラムは、流通経済大学流通情報学部が2010年度に正式に立ち上げ、今年度が14年目となります。その間、プログラムは確実に定着し、様々な効果が出ています。さらに2018年度から展開している文部科学省私立大学研究ブランディング事業「高度なロジスティクス実現に向けての研究拠点形成と人材育成—高度なロジスティクス・イノベーション・プロジェクト—」の人材育成の主要な柱として位置づけられました。

プログラムの講師は、ロジスティクス関連の業界団体、物流業、運輸業、メーカー、卸売業、小売業、コンサルタントなど、企業を中心とした幅広い人材で構成されております。

ロジスティクス産学連携プログラムは、従来、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の7科目で構成されてきました。ただし、「ロジスティクス改善演習」については、2020年度から産学連携科目ではなくなりました。また、2018年度より、新松戸キャンパスで「IoTロジスティクス実践講座」、龍ヶ崎キャンパスで「地域ロジスティクス実践講座」を開講し、計8科目となりました。また、関連する寄付

講座として、「NX(日本通運)寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」の2科目があります。

さらに2020年度より、「プロジェクト学習(ロジスティクス)」を開講しました。「プロジェクト学習(ロジスティクス)」は、従来の実践講座と違い、1つのテーマについて、学生がグループワークで取り組み、最終的に提案を発表するというものです。

本稿では、2023度の産学連携プログラムの実施状況の概要をご報告させていただきます。

また、流通情報学部は、2019年度より、龍ヶ崎キャンパスでの募集を停止していることから、一部科目の龍ヶ崎キャンパスの開講はしていません。さらに、開講している科目についても、履修者数が少なくなっています。

「NX(日本通運)寄付講座」は、通年科目として龍ヶ崎キャンパス、新松戸キャンパスで開講しました。NITTSUグループユニバーシティの山根泉氏に講義をしていただきました。

なお、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「NX(日本通運)寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」は2学年以降の履修科目、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「IoTロジスティクス実践講座」、「地域ロジスティクス実践講座」は3学年以降の履

修科目となっています。

① 「ロジスティクス実践講座」の2023年度の実施状況

「ロジスティクス実践講座」は、荷主企業等を中心にロジスティクス実務者を招き、各企業のロジスティクスシステムの現状を学

び、ロジスティクスの考え方を現場から考えていくことを目標としています。ロジスティクス実践講座は秋学期に半期科目として、新松戸は対面授業方式、龍ヶ崎はリアルタイムオンライン方式で開講しました。各回のテーマ、講師は表1のとおりです。受講生数は新松戸37名、龍ヶ崎4名でした。

表1 「ロジスティクス実践講座－秋学期」の2023年度の実施結果(新松戸37名、龍ヶ崎4名)

回	テーマ	講師
1	設備投資実施プロセスについて	元日本コカ・コーラ(株) 小林雄一氏
2	物流改善のポイントは-1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
3	物流改善のポイントは-2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
4	卸売業の果たしている社会的貢献とは	ロジスティクス経営士 楠堂昌純氏
5	ロジスティクスの最新動向	山田経営コンサルティング 山田健氏
6	ロジスティクスと環境-1	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
7	ロジスティクスと環境-2	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
8	SCMの発展とDX時代の物流	一般社団法人 日本物流資格士会 会長 早川哲志氏
9	物流とロジスティクスの最近の動向(1)	元(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
10	物流とロジスティクスの最近の動向(2)	元(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
11	ロジスティクス企業に期待されていること	元日通情報システム(株) 藤田光樹氏
12	トラック輸送の実態と物流の2024年問題について	(株)NX総合研究所(元日通総合研究所) 大島弘明氏
13	DX時代におけるBtoBプラットフォームの役割	(株)インフォマート藤田尚武氏
14	包装の役割と流通経済 ロジスティクスと包装	公益社団法人 日本包装技術協会包装技術研究所 金子武弘氏
15	物流コストの管理とコスト削減	合同会社サプライチェーン・ロジスティクス研究所 久保田精一氏

② 「物流マネジメント実践講座」の2023年度の実施状況

「物流マネジメント実践講座」は、トラッ

ク、鉄道、3PL等の物流事業者及び有識者を招き、ロジスティクス管理に関する現状を学ぶことを目標としています。また、企業の物

2023年度の産学連携プログラムの実施状況

流戦略や多様な物流サービスの事例といった最新の動きについても学びます。半期科目であり、春学期に新松戸は対面授業方式、龍ヶ崎はリアルタイムオンライン方式で開講しま

した。各回のテーマ、講師は表2のとおりです。受講生数は新松戸50名、龍ヶ崎0名でした。

表2 「物流マネジメント実践講座－春学期」の2023年度の実施結果(新松戸50名、龍ヶ崎0名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	物流事業者の役割	流通経済大学 矢野裕児
3	最新物流概論 基礎編	ロジ・ソリューション(株) 釜屋大和氏
4	最新物流概論 トレンド編	ロジ・ソリューション(株) 釜屋大和氏
5	文化財・美術品の輸送	元日本通運(株) 浅賀博靖氏
6	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送(株) 結束洋氏
7	物流業界の特徴-1	流通経済大学 矢野裕児
8	物流業界の特徴-2	流通経済大学 矢野裕児
9	暮らしを運び、未来へつなぐ。	日本貨物鉄道(株) 中村愛氏
10	物流における倉庫の役割	NX 総合研究所 田代信行氏
11	ヤマトの歴史と次の100年	ヤマト運輸(株) 中西優氏
12	サプライチェーンを支える3PLの役割と事例	川崎陸送(株) 樋口恵一氏
13	トラック輸送産業の概要	一般社団法人東京都トラック協会 井上豪氏
14	フェリー・内航海運の概要と長距離トラック輸送における活用意義	復建調査設計(株) 加藤博敏氏
15	乾汽船の挑戦	乾汽船(株) 西尾孝久氏

③ 「国際物流実践講座」の2023年度の実施状況

「国際物流実践講座」は、国際物流に携わる経営者、実務経験者を講師として招聘し、国際物流における最新動向、事例により、国際物流の現状と課題を把握するとともに今後

の展望を学修することを目標としています。半期科目であり、春学期に新松戸キャンパスでは対面授業方式、龍ヶ崎キャンパスではオンライン方式で開講しました。各回のテーマ、講師は表3のとおりです。受講生数は新松戸43名、龍ヶ崎1名でした。

表3 「国際物流実践講座－春学期」の2023年度の実施結果(新松戸43名、龍ヶ崎1名)

回	テーマ	講師
1	国際海上輸送の動向	公益財団法人日本海事センター 中村秀之氏
2	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
3	船会社の国際物流戦略	元日本郵船株式会社 辰巳順氏
4	インテグレータの国際物流戦略航空	元 FedEx 山口邦男氏
5	海上貨物フォワーダーの国際物流戦略	一般財団法人みなと総合研究財団 石橋斉氏
6	物流企業の海外展開(中国)	日本通運(株) 日吉真仁氏

7	航空貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運(株) 濱田恵氏
8	中間まとめ	流通経済大学 林克彦
9	商社の国際物流管理	住友商事(株) 河野達也氏
10	米国の最新物流事情	(株)NX 総合研究所 田阪幹雄氏
11	ASEANの最新物流事情	(株)NX 総合研究所 張哲氏
12	インドの最新物流事情	川崎陸送株式会社 樋口恵一氏
13	欧州の最新物流事情	流通経済大学 林克彦
14	越境 EC ロジスティクス	NX ホールディングス(株) 神田直浩氏
15	まとめ	流通経済大学 林克彦

④ 「情報システム実践講座」の2023年度の実施状況

「情報システム実践講座」は、物流分野などに利用されている情報システムやその要素技術などに関わる実務者を講師として招き、具体的事例を通して最近の動向や課題などについて学びます。また、システムやネットワー

ク的设计・開発の手法についても学びます。半期科目であり、春学期に新松戸は対面授業方式、龍ヶ崎はリアルタイムオンライン方式で開講しました。各回のテーマ、講師は表4のとおりです。受講生数は新松戸82名、龍ヶ崎0名でした。

表4 「情報システム実践講座－春学期」の2023年度の実施結果(新松戸82名、龍ヶ崎0名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 青笹真一
2	ロジスティクスにおける戦略立案のIT活用	(株)フレームワークス 後藤一孝氏
3	行動分析のIT化による作業改善の実例紹介	(株)フレームワークス 後藤一孝氏
4	パレットにおけるRFIDの利活用	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
5	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック(株) 田中裕樹氏
6	物流におけるIT、デジタル技術活用について	グリットコンサルティング(同) 野口雄志氏
7	ロジスティクスと情報システム	(株)フレームワークス 秋葉淳一氏
8	現場力強化のための物流技術(IoTによる作業情報と現場情報の可視化)	(株)MTI 栗本繁氏
9	ドローン物流の現状と今後	(株)ハフト 代表取締役社長 今村博宣氏
10	プロジェクトマネジメント実践	ITコーディネータ実務研究会 吉山洋一氏
11	ユーピーアールの先端技術紹介とアシストスーツ装着体験	ユーピーアール(株) 小林道明氏
12	物流企業におけるセキュリティ対策の重要性	(株)NX総合研究所 行田一三氏
13	物流業務における調達管理とコンプライアンス	グリットコンサルティング(同) 野口雄志氏
14	WMSに求めるもの	日本通運(株) 大野修氏
15	まとめ	流通経済大学 青笹真一

2023年度の産学連携プログラムの実施状況

⑤ 「ダイレクトマーケティング実践講座」の2023年度の実施状況

「ダイレクトマーケティング実践講座」は、近年、市場が大きく拡大している通信販売、ネット販売といったダイレクトマーケティングをテーマに、通販業界の実務家を招き、講義を進めます。ダイレクトマーケティングの進展は、小売業における店舗型から無店舗型への変化というだけでなく、メーカー、卸、

小売のサプライチェーン、さらに物流業に大きな影響をもたらしつつあります。本講座は、このような展開を、広く学んでいきます。半期科目であり、秋学期に新松戸は対面授業方式、龍ヶ崎はリアルタイムオンライン方式で開講しました。各回のテーマ、講師は表5のとおりです。受講生数は新松戸103名、龍ヶ崎10名でした。なお、本講座は公益社団法人日本通信販売協会が後援しています。

表5 「ダイレクトマーケティング実践講座－秋学期」の2023年度の実施結果(新松戸103名、龍ヶ崎10名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	通販の現状 ～課題と対応の方向性～	公益社団法人日本通信販売協会 三浦千宗氏
3	ネット通販市場の動向	柿尾正之事務所 元公益社団法人 日本 通信販売協会 柿尾正之氏
4	スクロール・グループ紹介	(株)スクロール 高山隆司氏
5	インターネット通販の歩みとネット通販の今後	中山茂マーケティングデザイン(株) 元(株)千 趣会 中山茂氏
6	EC(・オムニチャネル)について-考え方と業務-	ネクトラス(株) 中島郁氏
7	ふくやの通信販売への取組について	(株)ふくや 平山高久氏
8	番組等表現及び商品チェックの現状 ホントに痩せてる！？テレビ通販の真実	(株)株式会社TBSグロウディア 倉又徹夫 氏
9	物流職と通販	ココヨサプライロジスティクス(株) 若林智樹 氏
10	フルフィルメントサービスについて	(株)スクロール 360 勝井武二氏
11	ニュースから見るインターネット通販のトレンド 変化と今後の展望	ネットショップ担当者フォーラム 編集顧問 天井秀和氏
12	越境 EC の仕組みとデジタル活用	KANTAN(株)横川敏幸氏
13	EC 業界の仕組みと物流におけるロボティクス・ 物流テックトレンド	With River(株) 白川久美氏
14	ダイレクトマーケティングとロジスティクス	流通経済大学 矢野裕児
15	再配達削減への対応	流通経済大学 矢野裕児

⑥ 「ロジスティクス企業訪問講座」の2023年度の実施状況

企業がロジスティクスをどのように考え、システムを構築しているかについて、企業訪問を通じて考察します。実際の現場を説明す

ることによって、学生が実感として理解することを目標としています。2023年度はリアル見学クラスとオンライン見学クラスの2班に分けて、秋学期に開講しました。

リアル見学クラスの各回のテーマ、訪問先

は表6のとおりです。受講生数は13名でした。オンライン見学クラスの6箇所について、現場の様子を撮影した動画を用いてロジスティクス担当者が概説しました。秋学期にオ

ンデマンド方式で開講しました。各回のテーマ、訪問先は表7のとおりです。受講生数は11名でした。

表6 「ロジスティクス企業訪問講座－秋学期1班、新松戸」の2023年度の実施結果(リアル見学クラス13名)

回	テーマ	訪問先、講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1 ・企業訪問講座の全体像 ・訪問場所のロジスティクスの概要	流通経済大学 洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2 ・スケジュール	流通経済大学 洪京和
3	ネット通販の物流センター見学	バンダイロジパル EC 物流センター
4	化学品物流の施設見学	三菱ケミカル物流
5	ネット通販物流センター	スクロール 360 の物流センター
6	メーカーの物流センター見学	アサヒビール 物流センター SDミュージアム
7	物流センター見学(先端物流機器の見学)	日通『NEX-ALFA』
8	ロジスティクスの先端技術を見る	国際物流総合展
9	まとめ	流通経済大学 洪京和

表7 「ロジスティクス企業訪問講座－秋学期2班、新松戸」の2023年度の実施結果(オンライン見学クラス11名)

回	テーマ	訪問先、講師
1	企業訪問講座ガイダンス-1 ・企業訪問講座の全体像 ・訪問場所のロジスティクスの概要	流通経済大学 洪京和
2	企業訪問講座ガイダンス-2 ・スケジュール	流通経済大学 洪京和
3	農産物物流の仕組み	東京都大田市場
4	小売店舗向け最先端物流設備	GROUND 社
5	小売業の物流センター見学	カスミの物流センター
6	ネット通販の物流センター見学	コクヨサプライロジスティクス
7	物流の歴史を学ぶ	物流博物館
8	情報通信機器の物流	ソフトバンクフレームワークス株式会社
9	まとめ	流通経済大学 洪京和

⑦ 「IoTロジスティクス実践講座」の2023年度の実施状況

「IoTロジスティクス実践講座」は、2018年度から新たに開講された科目です。最近のIoT、ロボット、AIなどの技術の進展は目覚

ましく、この動向は今後ロジスティクスを大きく変革していくことが予想されます。本講座では、このようなIoT、ロボット、AIなどの現状、さらにロジスティクス分野での応用可能性、そしてロジスティクスが今後どのよ

2023年度の産学連携プログラムの実施状況

うな展開をしていくのかについて、考えていきます。本講座は、IoT、ロボット、AI関連、物流関連の客員講師から講義をしていただくかたちです。半期科目であり、秋学

期に新松戸は対面授業方式、龍ヶ崎はリアルタイムオンライン方式で開講しました。各回のテーマ、講師は表8のとおりです。受講生数は新松戸74名、龍ヶ崎5名でした。

表8 「IoTロジスティクス実践講座－秋学期」の2023年度の実施結果(新松戸74名、龍ヶ崎5名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	物流ネットワークでの情報化	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
3	物流の喫緊課題と今やらねばならないこと	エルテックラボ 菊田一郎氏
4	日本の生産と物流、日本の加工食品の物流の今とこれから	元味の素(株)、(株)丸和運輸機関、(株)なとり 恒吉正浩氏
5	IoT、Robotics、AI で激変するロジスティクス	(株)ダイワロジテック 秋葉淳一氏
6	NX グループのDXに関する取組事例および戦略について	NIPPON EXPRESS ホールディングス(株) 牧信吾氏
7	IoT、第4次産業革命とロジスティクス	流通経済大学 矢野裕児
8	花王のロジスティクスシステム	花王(株) 山口裕人氏
9	サプライチェーン ロジスティクス ～DFL Design For Logistics でグローバルSCを最適化～	LTロジマネジメント社 正木裕二氏
10	RFID の最新動向と活用事例	(株)東芝 神戸 幸彦氏
11	最新ロジスティクス技術の潮流とその導入へ向けて	(株)NX 総合研究所 井上文彦氏
12	日立におけるロジスティクスDXソリューション事例	(株)日立製作所 永原聡士氏
13	IoT と新しい物流ソリューションサービス	三井倉庫ロジスティクス(株) 松川健一氏
14	ロジスティクス×DX	日本電気(株) 武藤裕実氏
15	IoT がもたらすロジスティクス変革	流通経済大学 矢野裕児

⑧ 「地域ロジスティクス実践講座」の2023年度の実施状況

「地域ロジスティクス実践講座」は、2018年度から新たに開講された科目です。地域の経済、産業、さらには我々が生活する上において、物流、ロジスティクスは重要な役割を果たしています。本講座は、地域経済、地域産業、我々の生活において、物流、ロジスティクスがどのような役割を果たしているかについて、広く理解することを狙いとしています。

地域の物流の特徴を知ると同時に、地域農産物、特産品、地域小売業などの物流、ロジスティクスの仕組み、さらに最近問題となっている買い物弱者問題などの現状と課題など、様々な視点から考えます。そして今後、地域活性化、地域発展において、物流、ロジスティクスがどのような役割を果たしていくべきか、新たな地域ロジスティクスのあり方について、考えていきます。半期科目であり、秋学期に龍ヶ崎は対面授業方式、新松戸はリア

ルタイムオンライン方式で開講しました。各 受講生数は新松戸125名、龍ヶ崎6名でした。
回のテーマ、講師は表9のとおりです。

表9 「地域ロジスティクス実践講座－秋学期」の2023年度の実施結果(新松戸125名、龍ヶ崎6名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	いばらきの地域特性～茨城県の産業と経済	常陽産業研究所 廣田善文氏
3	首都圏を支える茨城県の物流	十和運送株式会社結束洋氏
4	コロナ後の地域活性化 ～インバウンドのゆくえ～	(株)日本経済研究所 宮地義之氏
5	地域資源の掘り起こしと活用による地域活性化	(一社)地域循環共生社会連携協会 吉岡慎一氏
6	茨城県、千葉県の特徴と産業-1	流通経済大学 矢野裕児
7	トラック輸送から見る茨城県の物流概況	(一社)茨城県トラック協会 小倉邦義氏
8	いばらきの港の最近の動きについて	茨城県土木部港湾課 永井達也氏
9	1.物流は大事 2.私たちのミッションは「『運ぶ』を支え地域社会 を笑顔にする」 3.必要とされる人に	茨城いすゞ自動車(株) 豊崎悟氏
10	物流サービスで、地域課題を解決する	沼尻産業(株) 田中政徳氏
11	激動する時代に求められる事業戦略「地域商 社」	(株)ファーマーズ・フォレスト 松本謙氏
12	地域における「ロジスティクス企業」の役割	ロジスティード東日本(株) 柳橋太氏
13	松戸市の特徴	流通経済大学 矢野裕児
14	小売りの物流現場を主役にした SCM 改革 ～物流危機を追い風にした前後工程との連携 とは～	(株)カスミ 齋藤雅之氏
15	茨城県、千葉県の特徴と産業-2	流通経済大学 矢野裕児

⑨ 「全国通運連盟寄付講座」の2023年度の 実施状況

「全国通運連盟寄付講座」は、鉄道貨物輸
送をテーマとして、物流博物館、JR貨物、
鉄道利用運送事業者、荷主企業の実務者を招

き、鉄道貨物輸送の現状、課題、今後の展望
を広く学びます。半期科目であり、対面授業
方式により新松戸キャンパスで開講しまし
た。各回のテーマ、講師は表10のとおりです。
受講生数は42名でした。

表10 「全国通運連盟寄付講座－秋学期」の2023年度の実施結果(42名)

回	項目	内容
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	物流の歴史(1)	物流博物館 玉井幹司氏
3	物流の歴史(2)	物流博物館 玉井幹司氏

2023年度の産学連携プログラムの実施状況

4	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(1)	公益社団法人全国通運連盟 松本年弘氏
5	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(2)	日本通運(株) 田中芳和氏
6	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(3)	センコー(株) 碓山将士氏、西山菜月氏
7	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(4)	SBS ロジコム(株) 栗生浩延氏
8	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(5)	(株)合通ロジ 高橋宏樹氏
9	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(6)	協同組合全国地区通運協会 石井清之氏
10	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(7)	芳賀通運(株) 塚本貴士氏
11	JR貨物に関する知識(1)	日本貨物鉄道(株) 中村愛氏
12	JR貨物に関する知識(2)	日本貨物鉄道(株) 八木克敏氏
13	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(1)	住友林業緑化(株) 宇野夏世氏
14	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(2)	(株)ブルボン 稲田浩氏
15	講義のまとめ	流通経済大学 林克彦